

品質管理をしないのは会社の怠慢だ！

駅停車時の確認喚呼について業務委員会開催

現在、日常的に列車遅延が発生しています。名古屋地本は、申第4号「安全・安定輸送を阻害する駅停車時における確認喚呼についての申し入れ」を行い、11月24日に業務委員会を開催し、会社と議論をしました。

実態に合わない基本動作・確認喚呼！

この間、事象が発生すると「対策」と称して基本動作・確認喚呼が増やされ続けてきました。一方、停車時間については見直しがされていません。運転士・車掌は、定時運行をするために必死になって確認喚呼を行っていますが、停車時分に余裕がなく客扱い時間が殆どないために列車は徐々に遅れている実態があります。さらに、見習いが乗務していたり、管理者による添乗があった場合には、顕著に列車遅延が発生していることを会社に強く訴えてきました。

しかし、会社は、旅客動向のみを問題視して、基本動作・確認喚呼については「必要な時間を確保している。」という不誠実な対応であり、現実から目をそむけたものでした。

列車遅延の実態は会社も把握している！

列車ダイヤは、会社の商品です。時刻表通りに運行されるのが当然です。日常的に遅れが発生していることは不良商品をお客様に提供していることです。当然、お客様にも迷惑を掛けています。会社も列車が遅れていることは認めています。しかし、会社は、逐次、乗務員に対して、「運転情報記録装置のデータ」を見て、運転士に対して「ドア閉から起動までの時間が早い」、車掌に対して「停車からドア開までの時間が早い」と怒ります。会社は、事故防止のために対策を講じていると言っていますが、現場で働く乗務員は、たまったものではありません。名古屋地本は、会社に対して「適切な停車時分の見直し」「基本動作・確認喚呼の見直し」を強く要求してきました。

余裕のない作業時間では安全文化は醸成されない！

東海労は改善するまで要求し続けます！

